

日本語能力証明
Japanese Language Proficiency Report

※推薦書の記入者と異なる人が記入してください

To applicants: Please give the following four pages to one of your recent Japanese instructors who can appropriately assess your Japanese language abilities and ask him/her to complete the forms.

応募者氏名	姓	名	ミドルネーム
-------	---	---	--------

(1) 出願時における日本語能力評価

① 日本語の「文法」レベル

学習中、もしくは、**ほぼ習得済み**のレベル **全てに** ○を付けてください。

{ }のあるものについては、その中も○で選択してください。

ゼロ	初級前期<N5 相当>	初級後期<N4 相当>	初中級	中級前期<N3 相当>	中級後期<N2 相当>	上級<N1 相当>
初級	ほ ぼ 習 得 済	{ 学習中・ほぼ習得済 }	{ 学習中・ほぼ習得済 }	{ 学習中・ほぼ習得済 }	{ 学習中・ほぼ習得済 }	学習中

注意：本プログラムには初級前半の日本語クラスはありません。

② 文字 当てはまるものに○をつけてください。

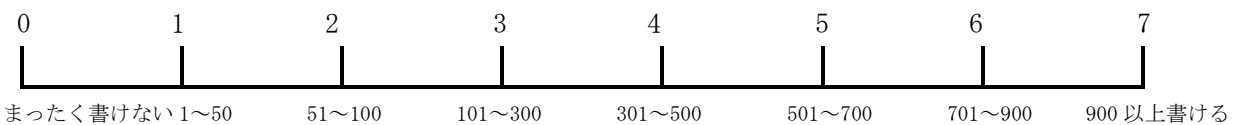
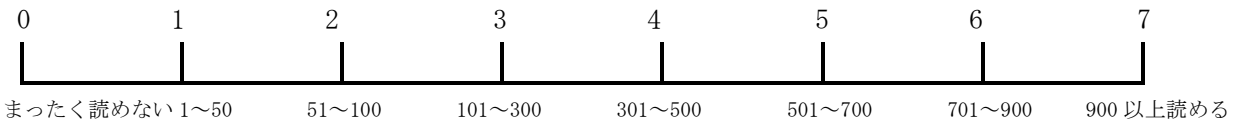
ひらがな (清音以外も含む)

本プログラムでは、すべてのひらがなは読み書きできるものとします。

カタカナ (清音以外も含む)

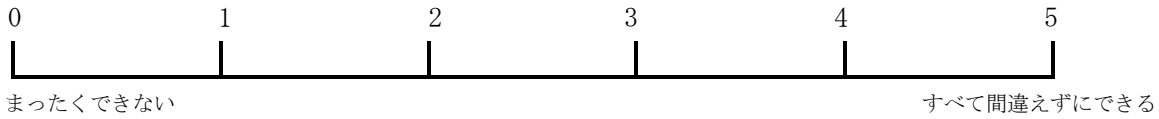
本プログラムでは、すべてのカタカナは読み書きできるものとします。

漢字

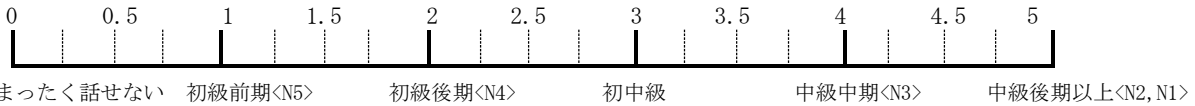


③ 動詞や形容詞や名詞の普通形活用

動詞文・形容詞文・名詞文のすべてで、丁寧体だけでなく普通体の文章が作成できる。



④ 会話



簡単な方法で、ゆっくりやり取りができる。簡単な質疑応答ができる。ごく身近な話題なら、話も始められる。

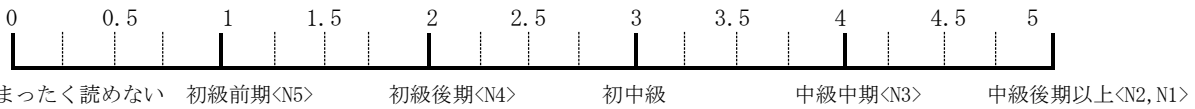
身近な事柄について、直接的で簡単な情報交換をすることができる。短いやり取りには対応できるが、自分から会話を進めていくほどの理解はない。

単純な形だが幅広く言葉や表現を使い、身近な話題の会話に準備なしでも加わったり、自分の意見や考えを述べたりすることができる。

比較的流暢に、正確に、既習の語彙や表現を使いながら、様々な話題について、その場にふさわしい丁寧さで言いたいことが表現できる。

幅広い語彙や間接的な表現も使いながら、自然に言いたいことが表現できる。難しい話題でも比較的流暢に、正確に意見などを述べる事ができる。

⑤ 読解



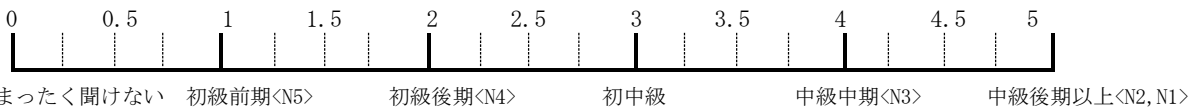
ひらがなやカタカナ、日常生活で使われる基本的な漢字で書かれた定型な語句や文、文章を読んで理解することができる。

基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を読んで理解することができる。

日常的な話題について書かれた具体的な文章を読んで理解できる。難易度が高い文章は、言い換え表現が与えられれば、要旨を理解することができる。

幅広い話題について書かれた長く複雑な文章でも、難しい部分を繰り返し読めば、話の流れや表現意図を詳細に理解できる。

⑥ 聴解



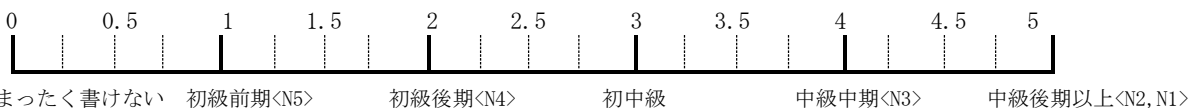
日常生活の中でよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。

日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できる。

日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとものある会話を聞いて、話の具体的な内容や登場人物の関係性がほぼ理解できる。

幅広い場面で、自然に近いスピードのまとものある会話やニュースを聞いて、話の流れ、内容、要旨、登場人物の関係性などを理解できる。

⑦ 作文



簡単な表現や文を単独に書くことができる。

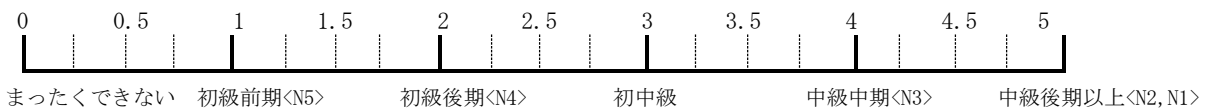
身近な事柄や個人的な経験について、基本的な表現や語彙を使って、つながりのある文章を書くことができる。

身近な話題や自分が関心を持つ出来事について、複雑ではないが、詳しく、まとものある文章を記述することができる。

自分が関心を持つ様々な話題について、明瞭、詳細に記述できる。

様々な話題や経験について明瞭、詳細に記述できる。論拠や論点を展開し、重要な点などを適切に強調することができる。

⑧発表、プレゼンテーション



準備して練習し、覚えた表現を使って、身近な話題について短い発表をすることができる。

身近な話題について、短い、基本的なプレゼンテーションができる。

自分の興味のある話題について、事前に準備された簡単なプレゼンテーションができる。要点を比較的正確に述べることができる。

事前に準備したプレゼンテーションができる。はっきりとした議論や自分の見解を展開し、聴衆に合わせて話が続けられる。

体系的に展開したプレゼンテーションが流暢にできる。要点を強調したり、聴衆が喚起した興味がある事柄に対応できる。

(2) 学習に使用している教科書

①使用している主教材

教科書名 : 『 _____ 』

学習を終えた課 : _____ 課まで(_____ ページまで)

来日までに学習を終える予定の課 : _____ 課まで(_____ ページまで)

クイズやテストの平均値 : _____ /100%

※来日までに、上記以外の教科書に進む予定の場合はその教科書名などをお書きください。

教科書名 : 『 _____ 』

来日までに学習を終える予定の課 : _____ 課まで(_____ ページまで)

※教科書ではなく 自作教材を使用の場合(使用する予定の場合) は、その詳細(対象レベル、その内容や構成など)を詳しくお伝えください。また、来日までにどの程度のレベルに到達し、どのような内容が学習される予定か、お書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

②その他のクラス(漢字、作文、読解、聴解、会話クラスなど)で使用している教科書について

教科書名	学習を終えた課	来日までに学習を終える予定の課
	() 課 / () ページまで	() 課 / () ページまで
	() 課 / () ページまで	() 課 / () ページまで
	() 課 / () ページまで	() 課 / () ページまで
	() 課 / () ページまで	() 課 / () ページまで
	() 課 / () ページまで	() 課 / () ページまで

(3) 特記事項（出席や宿題提出状況、受講態度など、詳細をご記入のこと）＊ワープロで入力した文書の貼付可

Dotted-line area for special notes.

日本語能力認定者

氏名： _____

所属機関名： _____ (役職名： _____)

所属機関所在地： _____

所属機関電話番号： 国番号 _____ - _____

所属機関 E-MAIL： _____ @ _____

以上の内容に相違ありません。

_____年 _____月 _____日

記入者 署名： _____